

みずほCustomer Desk Report 2020/11/02号 (As of 2020/10/30)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	104.60
TKY 9:00AM	104.56	1.1677	122.05	GBP/USD	1.2931
SYD-NY High	104.74	1.1704	122.41	AUD/USD	0.7038
SYD-NY Low	104.13	1.1640	121.64		
NY 5:00 PM	104.66	1.1648	121.92		
NY DOW	26,501.60	▲ 157.51	日本2年債	-0.130	0.00bp
NASDAQ	10,911.59	▲ 274.00	日本10年債	0.040	1.00bp
S&P	3,269.96	▲ 40.15	米国2年債	0.155	0.39bp
日経平均	22,977.13	▲ 354.81	米国5年債	0.384	0.95bp
TOPIX	1,579.33	▲ 31.60	米国10年債	0.873	4.23bp
シカゴ日経先物	23,165.00	▲ 150.00	独10年債	-0.6270	1.20bp
ロンドンFT	5,577.27	▲ 4.48	英10年債	0.2600	3.85bp
DAX	11,556.48	▲ 41.59	豪10年債	0.8260	0.50bp
ハンセン指数	24,107.42	▲ 479.18	USDJPY 1M Vol	7.95	▲0.20%
上海総合	3,224.53	▲ 48.19	USDJPY 3M Vol	7.43	▲0.18%
NY金	1,879.90	11.90	USDJPY 6M Vol	7.46	▲0.06%
WTI	35.79	▲ 0.38	USDJPY 1M 25RR	-1.45	Yen Call Over
CRB指数	144.729	▲0.08	EURJPY 3M Vol	8.05	▲0.17%
ドルインデックス	94.04	0.08	EURJPY 6M Vol	8.18	▲0.07%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想	
10月30日	18:00	独 GDP(前期比/前年比)・速報	3Q P	8.2%/-4.1%	7.3%/-5.2%
	19:00	欧 GDP(前期比/前年比)	3Q A	12.7%/-4.3%	9.6%/-7.0%
	19:00	欧 CPI(前月比・前年比)・速報	10月	0.2%/-0.3%	0.1%/-0.3%
	21:30	米 個人所得/個人支出	9月	0.9%/1.4%	0.4%/1.0%
	21:30	米 PCEデフレ(前月比/前年比)	9月	0.2%/1.5%	0.2%/1.7%
10月31日	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	10月	81.8	81.2
	10:00	中 製造業PMI	10月	51.4	51.3
	10:00	中 非製造業PMI	10月	56.2	56.0

【本日の予定】

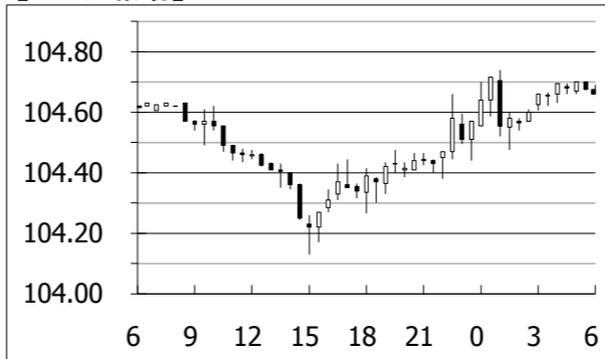
Date	Time	Event	予想	前回	
11月2日	17:55	独 マークイット製造業PMI・確報	10月	58.0	58.0
	23:45	米 マークイット製造業PMI・確報	10月	53.3	53.3
11月3日	00:00	米 ISM製造業景況指数	10月	55.8	55.4
	00:00	米 建設支出(前月比)	9月	1.0%	1.4%

東京 東京時間のドル円は104.56レベルでオープン。仲値前に104.62まで上昇する場面も見られたが、欧州を中心とした新型コロナウイルスの再拡大懸念を背景に広範に円が買われる展開となり、一時104.13まで下落。その後小幅に買い戻され、104.27レベルで海外時間に渡った。

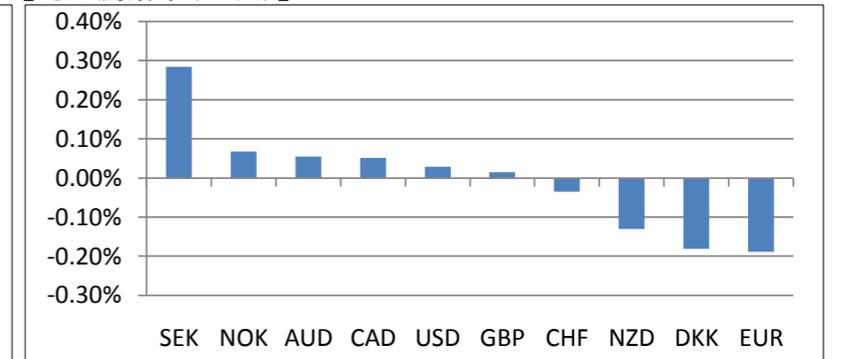
ロンドン ロンドン市場のドル円は、104.27レベルでオープン。アジア時間の月末の円需要が一服して、欧州時間のドル需要を背景に買い戻される。一時104.47まで上昇し104.44レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルジャー 00531 444 179 神田)

ニューヨーク 前日夕方に米ハイテク大手4社が決算を発表され、一部の業績が市場予想を下回り、時間外の米株先物が軟調に推移するほか、来週の米大統領選挙を巡る不透明感が強まる中、海外市場のドル円はリスク回避の円買い優勢となり、一時104.13まで下落。しかし、欧州通貨に対するドル買いが入っていることから下げ渋り、104.47まで反発後、104.44レベルでNYオープン。朝方発表の米9月個人所得・支出が予想を上回るも市場の反応は限定的。その後、特段のヘッドラインが見当たらない中、円売りの流れが強まり、一時104.66まで上昇するが、上に往って来い。しかし、その後は下げ幅拡大する米株を眺め、リスクオフのドル買いが強まったことから再び上昇し、104.74をつける。午後は104.60近辺で小動き。週末と来週の大統領選挙を前に積極的な取引が手控えられる中、動意に乏しい推移が続き、104.66レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロは、1.16後半で上値重く推移。4日連続で下落していたこともあり、売りが一巡しているものの、欧州のコロナ再拡大が懸念されるほか、12月のECB追加緩和観測が高まる中、ユーロは買われにくいことから方向感が出ず、1.1673レベルでNYオープン。朝方はユーロの買い戻しが入り、一時1.1704まで上昇するも滞空時間が短く、その後は月末のロンドンフィクシングに向けてドル買いが強まり、1.1642まで下落。午後は週末前で薄商いとなり、安値圏で小動き。1.1640まで安値を更新し、1.1648レベルでクローズ。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	104.10-105.00	1.1600-1.1700	121.30-122.30

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日のドル円相場は、引き続き104円台で上下する展開。東京時間は仲値にかけて、月末の実需筋とみられるドル買いが先行するも、その後は米大統領選挙を巡る不透明感や欧米での新型コロナウイルス感染が続くなか、リスク回避の円買いが強まり、ドル円は一時104.13まで下落。海外時間に入ると、リスク回避の円買いは一服、予想を上回った米経済指標を受けて米金利が上昇したこともドル買い材料となり、ドル円は一時104.74まで上昇。104.66レベルでクローズ。本日のドル円は引き続き、104円台でレンジ内での推移を予想する。米大統領選挙は、激戦州の結果次第であり、また早期に決着しない可能性もあるなど不確実性が高く、積極的に動きづらい状況。新型コロナウイルス感染再拡大によるリスクオフムードで、基調としてドル円は上値重い展開継続か。一方で104円ちょうど付近は底堅くなっており、本日も104円台でレンジ内での値動き継続か。

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐		
ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア		
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	鈴木	大谷	大庭	逸見	木村		ブル	ベア
ブル	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル		10	11

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。